



ネコの正しい飼い方



—お宅のネコはご近所に迷惑をかけていませんか？—

私たちにとって最も身近なペットの1つであるネコ。ですが、一方でネコの迷惑行為による苦情が数多く寄せられています。これらは、飼い主がネコの習性を理解し、周囲への気配りと責任を持って飼育することで解決できます。皆が気持ちよく生活できるよう、ペットは正しく飼いましょう。

1. 習性を理解しましょう

動物を正しく飼うためには、その習性を理解する必要があります。ネコの習性には次のようなものがあります。

- ・夜行性である
- ・縄張りを持ち、単独生活を好む
- ・拘束されることを嫌う
- ・清潔好きで身体や居場所を汚さない
- ・高いところに登る
- ・爪とぎをする
- ・尿マーキングを行う
- ・メスは年2～4回発情する
- ・1回の出産で3～8匹生まれる



2. 飼い方を見直しましょう

ネコは飼い主の知らないところで周囲に迷惑をかけていることがあります。大事なペットが周囲に嫌われないよう、その習性を理解して正しく飼いましょう。

エサは屋内で十分与えましょう

エサやりが十分でないと、ご近所でエサをあさる場合があります。また、屋外にエサを置くと野良猫なども集まってきますので、屋内で十分に与えましょう。

排便のしつけをしましょう

ネコは決まった場所で排泄する習性があります。静かで落ち着ける場所にトイレを用意し、そこで排泄するようしつけましょう。また、トイレは清潔に保ちましょう。

マイクロチップをつけましょう

飼いネコにマイクロチップを装着し、情報登録をしましょう。大きな災害時等に飼い主と離れても、飼い主に連絡がいき、ネコが戻ってくる可能性が高まります。

健康管理は十分にしましょう

飼育環境は常に清潔に保ちましょう。また、獣医師と相談して健康診断や予防接種を受けさせましょう。

首輪やリボンをしましょう

飼いネコであることを明確にするため、飼い主の名前と連絡先を記入した首輪やリボンなどをつけておきましょう。

管理できる頭数で飼いましょう

終生の飼養や、適切な飼育環境の確保ができる、また周辺の生活環境に支障が生じない範囲内で飼いましょう。

3. 不妊・去勢手術を考えましょう

責任をもって飼えない仔猫を作らないために、繁殖を望まない場合は不妊・去勢手術を考えましょう。手術をすると、発情が無くなって性格が穏やかになり、また病気の予防、尿マーキング行動が減少するなどの効果もあります。

4. 屋内飼育に努めましょう

屋内飼育は欲求不満やストレスの原因になると思われがちですが、ネコは特に広い生活空間は必要としません。屋外では交通事故の危険があるほか、病気の感染や害虫に寄生される機会も増えるため、屋内で飼うようにしましょう。

5. ネコを捨ててはいけません

愛護動物を遺棄すると法により罰せられます(100万円以下の罰金)。やむを得ず飼うことが出来なくなった場合は、市にご相談ください。



☆☆ 野良ネコにエサを与えている方へ☆☆

お腹をへらした野良ネコにエサを与える優しい気持ちは大切なことだと思います。

しかしエサを与えると、他所からも野良ネコが集まり、出産して一度に3～8匹も産まれ、飼養や管理が難しくなります。

そのような場合、知らないうちに他の野生動物の被害に遭うなど、かえって不幸なネコを増やすことにもなります。また、集まった野良ネコはところかまわず糞尿をしたり、家の中にまで侵入して食べ物をあさったりするなど、周囲の人に様々な被害を与えます。

飼う自覚のない無責任な餌付けはやめましょう。